

SPR型（濁水処理装置）

主な特徴



次世代型濁水処理装置（AUTO・EASY・CLEAN）

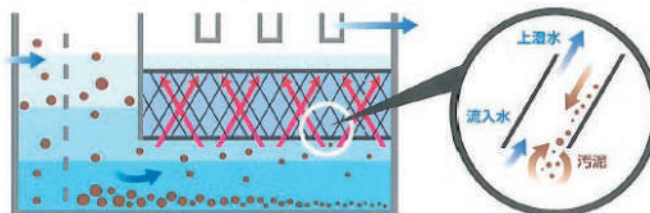
- 30m³/h処理（濁度計 流量計 pH指示 記録計を装備）
- 自動制御 **タッチパネル式** で排水フローの可視化を実現
異常時の履歴、原因箇所の表示も可能
- **排水・汚泥の各モード切替**にて排水異常時リターン汚泥の低濃度時の自動循環に対応
- **クロスフロー傾斜管**の採用、薬品2段注入により清浄・凝集効果の向上
- 分割ユニット構造、折り畳み式点検歩廊、背かご付タラップの採用により安全面・輸送面にも配慮

※ pH値 11以上は前処理で希硫酸処理装置が必要です

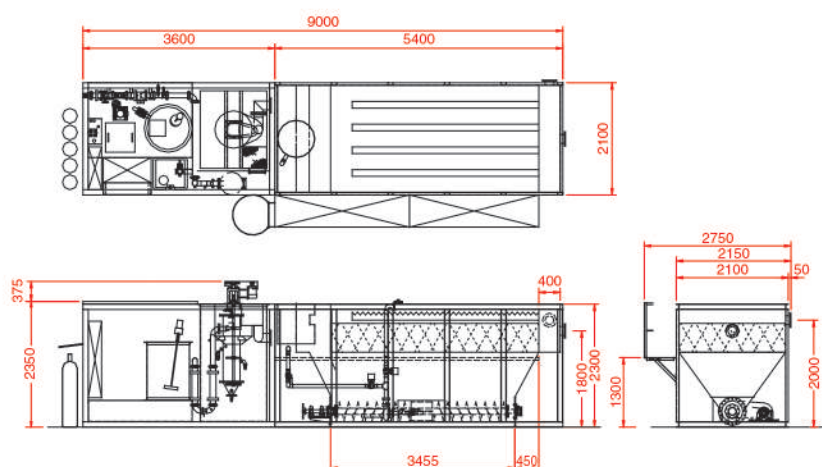
※ 放流前の積算流量計はオプションです

■クロスフロー傾斜管の特徴

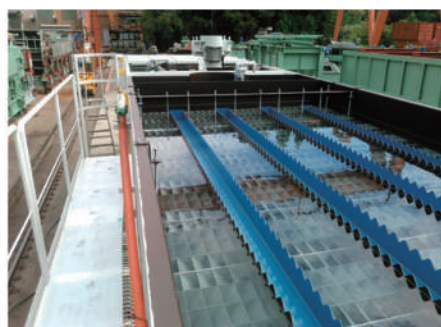
傾斜管特有の水理効果に2次凝集効果があります。これは傾斜管入口部で図のようなフロキュレーション流れが発生しており傾斜管内に流入してくる微細粒子を確実にキャッチします。また、傾斜管の下方では流入してくるフロックとシックナーの底部に向けて沈降中のフロックが絶えず接触を繰り返しておりフロックの成長を助けます。



■仕様



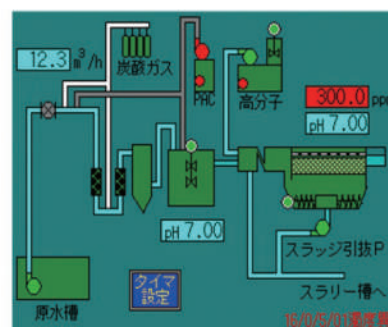
型 式	SPR-30		
標準処理量 (m ³ /hr)	30		
電圧 電気容量	200V 8.525kw		
pH処理方法	炭酸ガス(ガス取り式)		
	機器全体	薬品反応U	沈降槽U
寸法	全長L(mm)	9,000	3,600 5,400
	全幅W(mm)	2,750	2,750 2,750
	全高H(mm)	2,725	2,725 2,300
乾 燥 重 量 (kg)	7,000	3,100	3,900
運 転 重 量 (kg)	31,500	8,900	22,600



クロスフロー傾斜管



機内フローの表示イメージ



タッチパネルでの各種表記